

令和6年上半期

火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

令和6年上半期火災と救急・救助の概要

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

令和6年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は10件で、前年と比べ15件減少しました。

火災種別では、建物火災が1件増加して6件（60%）、林野火災は1件減少して0件（0%）、車両火災は4件減少して1件（10%）、その他火災は11件減少して3件（30%）となっています。

建物焼損棟数は11棟で、全焼5棟、半焼0棟、部分焼4棟、ぼや2棟、り災世帯は10世帯、り災人員は21人です。

建物焼損面積は948㎡（前年21㎡）で増加しました。

火災損害額は42,249千円（前年10,867千円）で増加しています。

1 火災種別件数（対前年比）

発生年	令和6年	令和5年	比較	
出火件数	10件	25件	△15件	
火災種別	建物	6	5	1件
	林野	0	1	△1件
	車両	1	5	△4件
	船舶	0	0	0件
	その他	3	14	△11件

（△印は減少）

2 火災概要（対前年比）

出火件数は、前年と比べると15件減少していますが、損害額は31,382千円増加しています。

区 分	単 位	令和6年	令和5年	比 較
出 火 件 数	件	10	25	△ 15
建 物	〃	6	5	1
住 宅	〃	3	1	2
工 場	〃	1	1	0
そ の 他	〃	2	3	△ 1
林 野	〃	0	1	△ 1
車 両	〃	1	5	△ 4
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	3	14	△ 11
損 害 額	千円	42,249	10,867	31,382
建 物	〃	42,241	706	41,535
建 物	〃	9,138	0	9,138
収 容 物	〃	33,103	706	32,397
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	5	1,007	△ 1,002
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	3	9,154	△ 9,151
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	11	7	4
全 焼	〃	5	1	4
半 焼	〃	0	0	0
部 分 焼	〃	4	2	2
ぼ や	〃	2	4	△ 2
爆 損	棟	0	0	0
損 害 棟 数	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m ²	948	21	927
建 物 床 面 積	m ²	948	21	927
建 物 表 面 積	〃	127	14	113
林 野	a	9	21	△ 12
車 両	台	1	4	△ 3
船 舶	台	0	0	0
負 傷 者	人	2	3	△ 1
死 者	〃	0	0	0
り 災 世 帯	世帯	10	1	9
全 損	〃	2	0	2
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	8	1	7
り 災 人 員	人	21	3	18
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	7,040	141	6,899
〃 焼 損 床 面 積	m ²	158	4	154

※損害額については、調査中2件を除く。

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は13件減少、広野管内は3件減少、吉川分署管内は1件増加しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	6年	3	0	0	0	1	4
	5年	5	1	2	0	9	17
広野分署	6年	2	0	0	0	0	2
	5年	0	0	3	0	2	5
吉川分署	6年	1	0	1	0	2	4
	5年	0	0	0	0	3	3
合 計	6年	6	0	1	0	3	10
	5年	5	1	5	0	14	25

4 地区別火災件数

吉川地区で増加しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
6年	3	2	1	0	0	0	0	0	0	4	10
5年	7	2	6	1	3	0	0	1	2	3	25

5 月別火災件数

3月が3件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
6年	2	1	3	1	2	1	10
5年	4	4	8	5	3	1	25

6 曜日別火災件数

月曜日が3件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
6年	1	3	0	2	0	2	2	0	10
5年	5	3	6	3	5	2	1	0	25

7 時間別火災件数

13時台と16時台が2件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
6年	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0
5年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
0	2	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	11
1	3	4	4	1	0	1	3	1	0	0	1	0	25

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が4件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
6年	3	4	0	0	0	2	1	10
5年	6	13	2	0	0	4	0	25

9 原因別火災件数

たき火が2件で、前年同様出火原因のトップです。

原因別	6年	5年	原因別	6年	5年
たばこ	0	2	配線器具	0	0
こんろ	0	0	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	0
風呂かまど	0	0	たき火	2	8
炉	0	0	溶接機・切断機	1	1
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	0	1	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	0	1
排気管	0	0	放火の疑い	0	0
電気機器・装置	0	2	その他	3	7
電灯・電話配線	1	2	不明	2	0
内燃機関	0	0	調査中	1	1
			合計	10	25

たき火欄内訳	6年	5年
たき火	0	1
虫焼火	2	7
合計	2	8

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、10件中7件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
6年	0	1	4	0	0	2	7	3	10
5年	0	5	4	0	2	5	16	9	25

11 死者の状況

死者の発生はありません。

12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	55	26	41	122
偵察	18	8	10	36
警戒	36	18	29	83
応援	0	0	0	0
風水害	1	0	2	3

(救助は除く)

- ※「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査 等
 「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動 等
 「応援」 近隣応援(市外、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動 等

13 高速道路別出動状況

道別 \ 種別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	1	2	0	0	1	0	0	4
舞鶴若狭道	0	1	0	0	0	0	0	1
山陽道	0	14	0	1	4	0	0	19
合計	1	17	0	1	5	0	0	24

令和6年上半期の救急概要

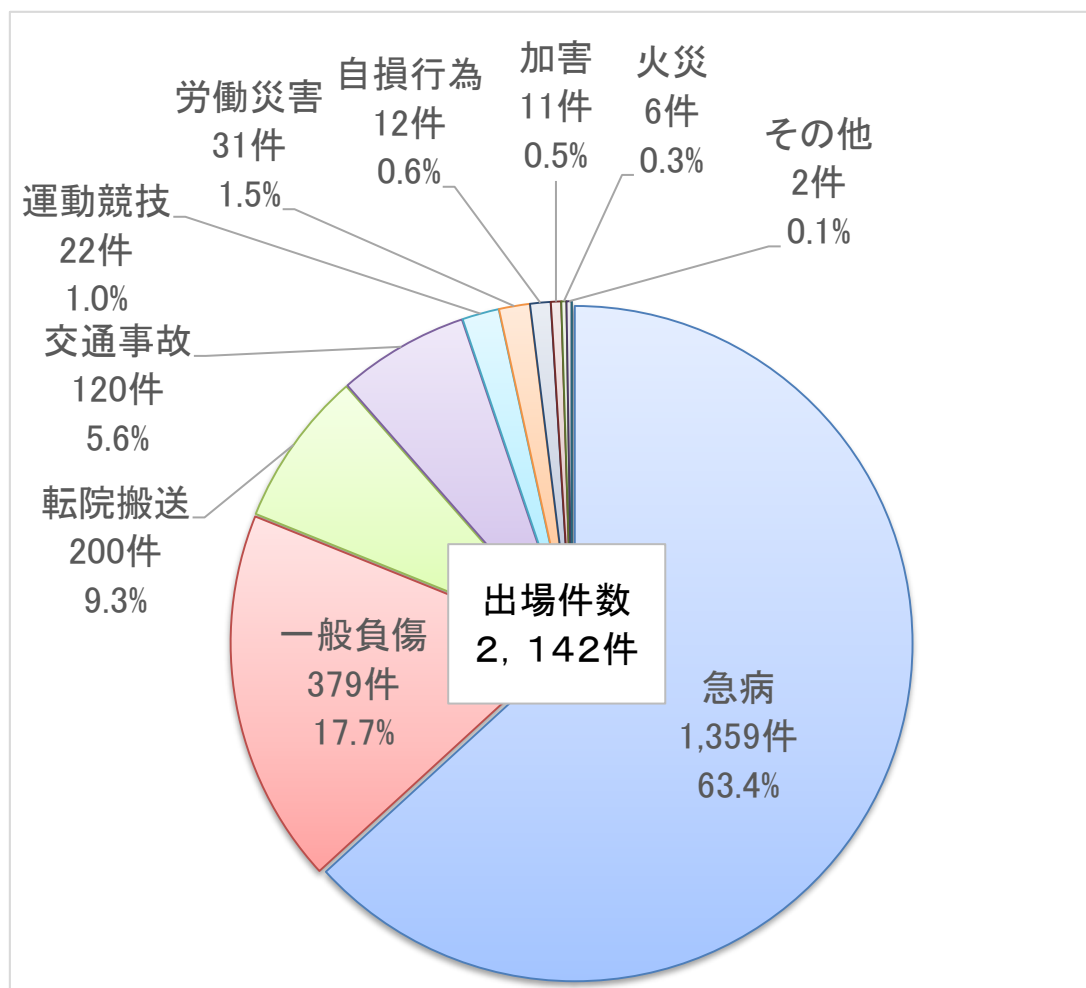
令和6年上半期（1月～6月）の救急出場件数は2,142件で、前年の2,043件に比べ99件増加しています。

搬送人員は1,926人で、昨年の1,861人に比べ65人の増加となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,359件（63.4%）で最も多く、一般負傷379件（17.7%）、転院搬送200件（9.3%）、交通事故120件（5.6%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、運動競技14件、交通事故8件、自損行為8件の減少、急病68件、転院搬送48件の増加となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

		救急出場件数			搬送人員			
		6年	5年	比較	6年	5年	比較	
事故種別	火災	6	5	1	1	3	△ 2	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	
	水難	0	0	0	0	0	0	
	交通事故	120	128	△ 8	103	120	△ 17	
	労働災害	31	30	1	31	29	2	
	運動競技	22	36	△ 14	20	35	△ 15	
	一般負傷	379	366	13	342	321	21	
	加害	11	10	1	8	10	△ 2	
	自損行為	12	20	△ 8	7	15	△ 8	
	急病	1,359	1,291	68	1,214	1,176	38	
	その他	転院搬送	200	152	48	200	152	48
		医師搬送	0	0	0	0	0	0
		資器材輸送	0	0	0	0	0	0
		その他	2	5	△ 3	0	0	0
合計		2,142	2,043	99	1,926	1,861	65	
不搬送		223	193	30				
管外搬送					1,354	1,212	142	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
6年	589	199	197	170	64	49
5年	582	192	208	125	75	46

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
223	321	98	214	18	2,142
214	281	107	194	19	2,043

4 曜日別救急出場件数

月曜日が最も多く、最も少ないのは水曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
6年	316	342	303	285	291	308	297	2,142
5年	277	298	267	303	294	307	297	2,043

5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは3月です。

1ヶ月平均357件、1日平均では11.8件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
6年	386	355	339	350	356	356	2,142
5年	394	324	345	321	320	339	2,043

6 時間別救急出場件数

10時台の163件が最も多く、次に11時台の160件で、最も少ないのは4時台の29件で、次に2時台の31件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
6年	59	37	31	39	29	42	52	72	124	124	163	160
5年	38	30	36	26	25	27	44	78	114	159	124	145

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
144	129	95	125	120	103	107	83	83	85	78	58	2,142
133	125	122	105	113	127	86	109	92	65	65	55	2,043

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が53.4%を占めています。

単位：人

程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
6年	23	66	809	1,028	0	1,926
5年	30	57	770	1,004	0	1,861

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の69.5%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
6年	1	68	62	457	1,338	1,926
5年	1	73	79	447	1,261	1,861

9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性が26人減少し、女性が91人の増加となっています。科目別では、内科1,045人、整形外科328人、脳神経外科319人の順となっています。

単位：人

科目	外科		整形外科		脳神経外科		内科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
6年	64	35	137	191	178	141	555	490	32	44	0	3
5年	58	34	154	196	170	129	551	430	51	28	4	1

産婦人科	眼科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
女	12	4	2	4	6	17	5	3	3	994	932
	8	8	1	4	5	18	7	2	2	1,020	841

10 応急処置件数

全搬送人員1,926人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,214	103	342	267	1,926
止血	7	10	35	8	60
固定	6	35	30	15	86
人工呼吸	0	0	0	0	0
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	39	2	1	2	44
酸素吸入	221	10	8	55	294
気道確保	66	2	2	4	74
経口エアウェイ	0	0	0	0	0
喉頭鏡・鉗子	0	0	0	0	0
※ラリゲアルマスク等	26	0	0	1	27
※気管挿管	1	0	1	0	2
以外	39	2	1	3	45
保温	42	8	2	4	56
被覆	5	16	69	20	110
在宅療法継続	16	0	1	0	17
冷却	9	1	2	3	15
除細動	5	0	0	0	5
血圧測定	1,168	101	341	265	1,875
心音・呼吸音聴取	203	28	20	24	275
血中酸素飽和度測定	1,184	101	341	265	1,891
心電図測定	876	34	122	154	1,186
※静脈路確保	33	1	1	3	38
心肺機能停止前	4	0	0	2	6
心肺機能停止後	29	1	1	1	32
※アドレナリン投与	13	0	1	1	15
※血糖測定	0	0	0	0	0
※ブドウ糖投与	0	0	0	0	0
その他	1,190	101	339	263	1,893
合計	5,083	450	1,315	1,086	7,934

※印は、救急救命士の特定行為等

令和6年上半期の救助概要

令和6年上半期における救助出動件数は50件で、前年と比べ23件増加しています。

1 救助出動状況

区分		事故種別									
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
出動件数 (件)	6年	5	15	0	0	0	28	0	0	2	50
	5年	4	9	0	0	0	13	0	0	1	27
活動件数 (件)	6年	5	10	0	0	0	15	0	0	2	32
	5年	4	4	0	0	0	10	0	0		18
救助人員 (人)	6年	0	9	0	0	0	9	0	0	4	22
	5年	0	7	0	0	0	3	0	0	1	11
出動台数 (台)	6年	13	44	0	0	0	70	0	0	7	134
	5年	5	37	0	0	0	32	0	0	2	76
出動人員 (人)	6年	43	132	0	0	0	198	0	0	21	394
	5年	16	110	0	0	0	90	0	0	7	223

2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別									
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
屋内	住居	3	0	0	0	0	27	0	0	0	30
	その他の屋内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
屋外	高速道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の道路	0	12	0	0	0	0	0	0	1	13
	その他の屋外	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
	内水面	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	外水面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	15	0	0	0	28	0	0	2	50

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が28件で全体の56%を占めています。地区別では、三木地区が14件と最も多くなっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木	3	0	0	0	0	11	0	0	0	14
三木南	2	1	0	0	0	2	0	0	0	5
別所	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
志染	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
細川	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
口吉川	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
緑が丘	0	1	0	0	0	4	0	0	0	5
自由が丘	0	1	0	0	0	8	0	0	0	9
青山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉川	0	4	0	0	0	2	0	0	1	7
高速道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	15	0	0	0	28	0	0	2	50